

御館中のみなさんへ

みたて祭、拝見させていただきました。

地域に伝わる、「柳橋歌舞伎」を演じる皆さん、とても良い地域環境のもとで学び成長できることと
思います。

前段で、「この柳橋歌舞伎は古くからこの地域に伝わる歌舞伎で、郡山市の重要無形民俗文化財に指定されています」という解説がありました。今、郡山市が指定する「無形民俗文化財」は19有りますが、皆さんはこの「無形民俗文化財」とはどういうことか、考えたことがありますか？
「無形」とは字のごとく形が無いことです。「民俗」とは地域に伝わる風習、伝承することです。「文化財」とは人々の生活のすべて文化と言いそれが「財産」ということです。

今、地域の伝統踊りなど、後継者がいなく中断を余儀なくされているところが多々あります。

「史跡」は形があり「有形文化財」と言いますが壊れない限り形が残っています。「無形文化財」は人が人へ口や手真似で伝えなくてはならないため、一度中断すると復活するのに困難の壁が出てきます。

「柳橋歌舞伎」は日本中探してもどこにも有りません。

皆さんの故郷、御館の地域にしかない大切な「文化財」です。みたて祭で皆さんが演じられたことに「誇り」を持って下さい。中学生生活に思い出の1ページに深く刻んで下さい。

そして、教えて下さった「保存会の皆さん」、いつも学校生活で指導してくださっている先生方、共に学び一緒に中学生生活を送っている友がいることを、忘れないで下さい。

私ごとになりますが、私は数年前からの民俗文化の研究目的で県内を歩いています。

玉川村に伝わる「南須釜の念仏踊り」があります。小学生1年生から6年生が浴衣姿に花笠をかぶりその年に新盆を向かえた家々を回り「念仏踊り」を舞、供養して回ります。

ある6年生が「舞っていると家の人が、涙ながらに有難うといってくれた。そのたびに自分が人に喜ばれたんだなあ〜と思いました。でも6年生で最後でもう踊れないと思うと寂しいです」と涙ぐんでいました。さっそく、保存会の会長さんへ事情を話、「写真やビデオで記録することができるが子供たちの心は写りません。心を文にして残しませんか？」と訴えたところ、「それはいいかもしれない考える余地があります」と返答がありました。

御館中学校の皆さん、皆さんも「義経千本桜」「白波五人男」「三味線演奏」を演じた心を文に残しませんか？その文は思い出を残すことであり、いずれは御館地域の「文化財」「財産」になります。

また、「みたて祭」に演じたことに終わらず、定期的に練習をかさね皆さんの若いエネルギーで地域の人々と保存会の輪を広げていただきたいことを期待します。

「義経千本桜」「白波五人男」「三味線演奏」を演じた皆さんの写真を同封します。

「みたて祭」の一週間前、逢瀬中学校の「あすなろ祭」に行ってきました。

逢瀬地区にも市の「重要無形民俗文化財」に指定されている「多田野の鍬柄舞田植え踊り」という伝統の舞があります。生徒さんが地域の保存会の皆さんの指導いただき地域の伝統を守ろうと毎年あすなろ祭(逢瀬中の文化祭)とりくんでいます。

写真を送ったところ、自分達が「鍬柄舞田植え踊り」とりくんできた感想を文にして送ってくれました。「練習はうまくいかなかったが本番は上手いきました」「地域の伝統って大切に思います」「後輩たちに、「鍬柄舞田植え踊り」をぜひ守ってもらいたいです」、思い思いの文があります。

御館中学校の皆さんも同じ気持ちだと思います、毎年絶やさず取り組んでください。

校長先生をはじめ職員の皆さん、PTAの皆さん私の母校を守っていただき感謝します。

ありがとうございました。